

23年 第28回 横浜港メーデー

2020年、大黒ふ頭に入港したダイヤモンド・プリンセス号の乗客からコロナウイルス感染者が発見されて以後、4年ぶりの横浜港メーデーとなりました。

横浜港メーデーの準備においては運営委員の方々が入れ替わっている事もありましたが、07時30分に赤レンガパーク・プラットホームに集合し、以前準備したメーデー写真を見ながら舞台の準備を終了させました。

今は観光地として賑わっている、赤レンガ倉庫のある埠頭は以前、新港ふ頭又はセンターピアとも呼ばれ、横浜港の中心的ふ頭として担っていました。赤レンガ倉庫群裏のプラットホームは半世紀以前には鉄道の線路が引かれ貨車で貨物が運ばれ、プラットホームで港湾労働者が貨車から貨物を載せ替を行った場所として利用されてきた場所で、横浜港の港湾労働者にとっては歴史的な場所でもあります。その場所で第28回統一横浜港メーデーが09時30分より実施されました。天候は曇っていましたが、熱くもなく寒くもなく5月1日のメーデー日和となりました。

開会あいさつとして德里実行委員長の挨拶、全国港湾真島中央執行委員長の挨拶、及び、かながわ労働センター所長、横浜市港湾局中野局長、をはじめ県国民春闘共闘代表、政党からは立憲民主党、日本共産党、社会民主党、中央労働金庫様、こくみん共済COOP様、等から祝辞が述べられました。この紙面を借りて来賓の方々に御礼を申し上げます。

祝辞後、メーデースローガンの採択、メーデー宣言が採択され、德里実行委員長より団結ガンバローを三唱し、パレード行進を3ブロックに分かれてシュプレヒコールを響かせながら海岸通り、山下公園前道路をパレードし最終地点である山下ふ頭内で解散し、その後、単組毎に集まり中華街等へ懇親を深めた日でもありました。

当日、朝早くから準備に奮闘された運営委員の方々に、この場を借りて御礼を申し上げます。来年もよろしくお願ひ致します。(全横浜港湾・渡邊)